

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年4月分)

1. 調査実施期間 平成21年 3月20日 ～4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

4月分の回答企業数は46社、回収率は95.8%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	△ 18.1	△ 16.7	△ 24.3
	外材	△ 16.3	△ 18.6	△ 19.0
販売動向	国産材	△ 27.8	△ 22.2	△ 21.4
	外材	△ 20.9	△ 15.1	△ 13.1
在庫動向	国産材	△ 19.1	△ 19.1	△ 18.2
	外材	△ 16.7	△ 16.7	△ 13.4

仕入は、国産材、外材とも大きなマイナスを一層大きくし、先行き深刻な状況。

販売も国産材、外材とも大きなマイナスを若干縮め需要回復の期待伺えるが、全く動き弱い。

在庫も同様、国産材、外材とも大きなマイナスでほぼ横ばい。

仕入、販売、在庫とも4～6月の動向が1～3月に引き続き全て大きなマイナスと特段の弱さが長期化している。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	△ 26.0	△ 14.0	△ 12.5
スギ正角(KD)	△ 27.8	△ 13.0	△ 11.5
ヒノキ正角	△ 11.1	△ 5.6	△ 9.6
ヒノキ土台角	△ 14.8	△ 7.4	△ 9.6
米ツガ正角(現地挽)	△ 19.2	△ 5.8	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 16.7	△ 5.6	△ 7.7
米ツガ割物(現地挽)	△ 17.3	△ 1.9	0.0
米マツ平角	△ 24.1	△ 13.0	△ 5.8
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 29.6	△ 11.1	△ 7.7
ホワイトウッド集成管柱	△ 34.6	△ 17.3	△ 10.0
レッドウッド集成平角	△ 28.3	△ 10.9	△ 4.3
型枠合板(国産)	△ 10.9	△ 6.5	0.0
型枠合板(輸入)	△ 8.0	△ 6.0	2.1
針葉樹合板	△ 8.3	2.1	4.3

スギ正角(グリーン、KD)やや大きなマイナスで低調。ヒノキ正角・土台角はマイナス基調で横ばいと弱含み。

米ツガ正角(現地挽)、割物(同)は着実な回復の勢い見られる。また防腐土台角はマイナスでやや弱い。米マツ平角は回復模様だがプラスに至らず。

北洋アカマツタルキ回復模様だが本格的な動き出てこない。WW管柱、RW平角とも大きなマイナスから回復だがマイナス基調で不透明感残る。

合板は全品目小さなマイナスからゼロ、プラスと着実な回復の様子伺える。

1. 荷動き	コメント
仕入動向	<p>米マツ一般材丸太では、米国材輸出価は今後公表しない公算が強く、3月積みも弱含み。カナダ材は相変わらず出材少ないがオールドグロス材のみ保合い。スプルーース丸太はカナダ材輸出用が多少出て来ているものの、価格は強い。(東京:米材問屋)</p> <p>米加、北欧ともに現地サイドが生産調整に入っており、徐々に良い結果になる。(東京:米材問屋)</p> <p>産地側オファーはないが、国内不振で積極的に仕入れ増をする意欲なし。(東京:米材問屋)</p> <p>在庫を抑えていたので少しずつではあるが買い始めた。(東京:外材問屋)</p> <p>産地の原木在庫量は依然少なく製品の殆どは日本以外に買われている。産地価格は若干強含み。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>各問屋は在庫を減らしており、入荷は減少している。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>信用不安のため大量の見積りは受けにくい。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>特殊な寸法や特殊な材にはこだわりがあるのか荷動き良い。一般の材は単価が安くても荷動き悪い。(東京:国産材問屋)</p> <p>市況悪化で仕入れは極力控えている。(東京:国産材問屋)</p> <p>最低の荷動き、売れず買えず。(東京:国産材問屋) 九州からの入荷が多い。(東海:国産材問屋)</p> <p>出荷した物の補充と受注して在庫のない物のみの仕入れ。(東京:仲買小売)</p> <p>4月に入っても荷動き相変わらず停滞。少ない回収から出費を抑えて静観中。(東京:仲買小売)</p> <p>カナダで原木からの生産をしている。役物適材の原木出材が極端に減少。今後もこの状況続けば大きな問題になる。(東海:仲買小売)</p> <p>WW大幅な値下がりて問屋筋は10,000円/m3以上の損。(大阪:仲買小売)</p>
販売動向	<p>米マツ丸太京浜マーケットでは、メーカー在庫が全く減少せず、当用買いの空気すら乏しい。荷動き好転の兆しは見られない。(東京:米材問屋)</p> <p>港頭在庫がかなり減少、後は仕事の出具合。(東京:米材問屋)</p> <p>新年度になっても好転兆し無し。(東京:外材問屋)</p> <p>閑古鳥が鳴いている。信用不安の話ばかりで成約に至らない。(東京:米材問屋)</p> <p>得意先も在庫を控えていたが若干だが買いはじめた。(東京:外材問屋)</p> <p>細かい仕事が多いがまとまった量は少ない。納期即納が多く加工の仕事は忙しいが単価厳しく利は少ない。(東京:南洋材問屋)</p> <p>まとまった注文少なく、荷動きは悪い。(東京:南洋材問屋)</p> <p>細かい注文材は多いがB/L(船荷証券)の荷動きは悪い。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>今まで40年間で初めて経験する悪さ。これから1年間ガマンのしどころ。(東京:問屋)</p> <p>3月は過去最低の売り上げ。(東京:国産材問屋) 信用不安、及び腰。(東京:国産材問屋)</p> <p>ヒノキ、役物に関しては、構造材はもちろん造作材も動かなくなった。(東京:国産材問屋)</p> <p>極端に在庫を減らしたためか、以前に比べると細かいながら動きが出てきている。旧盆明けまでこの状態が続くと思われる。(東京:国産材問屋)</p> <p>仕事量が回復せず国産材・外材とも荷動き非常に悪い状態が続いている。仕入れは少な目ながら在庫積み増し。(東海:外材問屋)</p> <p>ヒノキ柱、土台に買い気が薄く安値が続く。(東海:国産材問屋)</p> <p>大変荷動き悪く、特にWWの単価が下げ続けている。(東海:外材問屋)</p> <p>工務店の廃業が止まらない。貸し倒れに注意して営業している。(東京:仲買小売)</p> <p>最悪状態の前月と比較すれば良い。仕事のない工務店は依然全く悪い。繁閑の差が極端。(東京:仲買小売)</p> <p>仕事はひと段落だが、連休明けの仕事が決まらない。(東京:仲買小売)</p> <p>仕事の話が殆ど来ない。例年になく悪い。(東京:仲買小売) 相変わらず荷動き停滞。(大阪:仲買小売)</p> <p>とに角悪い。だがいくらか仕事の話が出てきそうな気配も感じる。ただ単価は厳しい。(東京:仲買小売)</p> <p>例年3月より必ず忙しくなるが今年はまだ忙しくない。この状態は当社始まって以来。(東海:仲買小売)</p> <p>相変わらずの荷動き低迷。想定外の状態。(東海:仲買小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ丸太はマーケットの不振を受け、問屋は入荷調整で凌いでいるが、在庫調整は進んでいない。(東京:米材問屋)</p> <p>3月決算に付き、在庫はかなり絞った。(東京:米材問屋)</p> <p>お付き合いで仕入れるとだんだん在庫が増えてしまう。(東京:外材問屋)</p> <p>良材不足からツキ板業界の困惑続くが、マンション内装の仕事不足から奇妙なバランスがとれている。(東京:米材問屋)</p> <p>注文材で在庫が無い時は、等級に関係なく、良材等ある物を販売している。(東京:国産材問屋)</p> <p>入荷量が少ないので全体的には減少しているが、寸法や等級によりバラツキがある。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>入荷と出荷のバランスはとれている。(東京:南洋・中国材問屋) 在庫量が漸減傾向。(東京:仲買小売)</p> <p>3月に大幅な値下がりをした反動が、4月末から5月にかけてありそうなので、在庫増加の予定。(大阪東京:仲買小売)</p>

2.価格動向	
スギ正角	市場での驚異的な値を耳にする。(東京:問屋) 全般に荷動き悪く変動がある。(東京:仲買小売) WW、ツガが下がっているため、内地材もあやしくなってきた。(東京:問屋) WWの値下がりにより原木・製品ともに値下げ。(東海:国産材問屋) 国産構造材相変わらず低迷のまま推移。(東京:仲買小売) 国産材の単価は優等生。(大阪:仲買小売)
ヒノキ正角 土台角	ヒノキ・ツガとも量が動かない。売れない。(東海:外材問屋) 先行き弱い。(東京:問屋) 土台は105mm角、120mm角ともに動き悪い。(東海:国産材問屋)
米ツガ	5月連休明けには上がってもおかしくない状況になると思われる(米加・北欧とも)。(東京:問屋) 輸入構造材は共にマイナス基調。全て需要頼み。(東京:仲買小売)
米マツ平角	売れ行き不振で本当の相場がわからない。(東京:問屋) 価格下落傾向だが荷動き悪い。集成材との競合でどこまで下げるか?(東海:外材問屋)
北洋アカマツ タルキ	少し値下がりしたが現状維持か?(大阪:仲買小売)
WW・RW 集成材	WWは3月の価格が大底。RWは3~4月が大底か?(東京:問屋) 平角もここらが底かと思うが現実にはまだ見えない。(東京:問屋) 今月末頃から先決めの安いものが入荷。国内製品はどこまで対応するのか? 現在WW柱 1,600円台/本、RW平角 52,000~53,000円/m ³ 。(東海:外材問屋)
合板	新年度、メーカー商社の販売姿勢がどうなるかで動向が占えるのではないか。(東京:仲買小売) 現状では大きな取引は望めない。メーカーも安値販売に依る売り上げ確保よりも、少量売り上げの中での利益確保に目を向けている。(東京:仲買小売) 安価でメーカーから積極的に仕入れしたため、今月は仕入れ見送り。(大阪:仲買小売)